

令和4年度 古河市下水道事業決算の概要



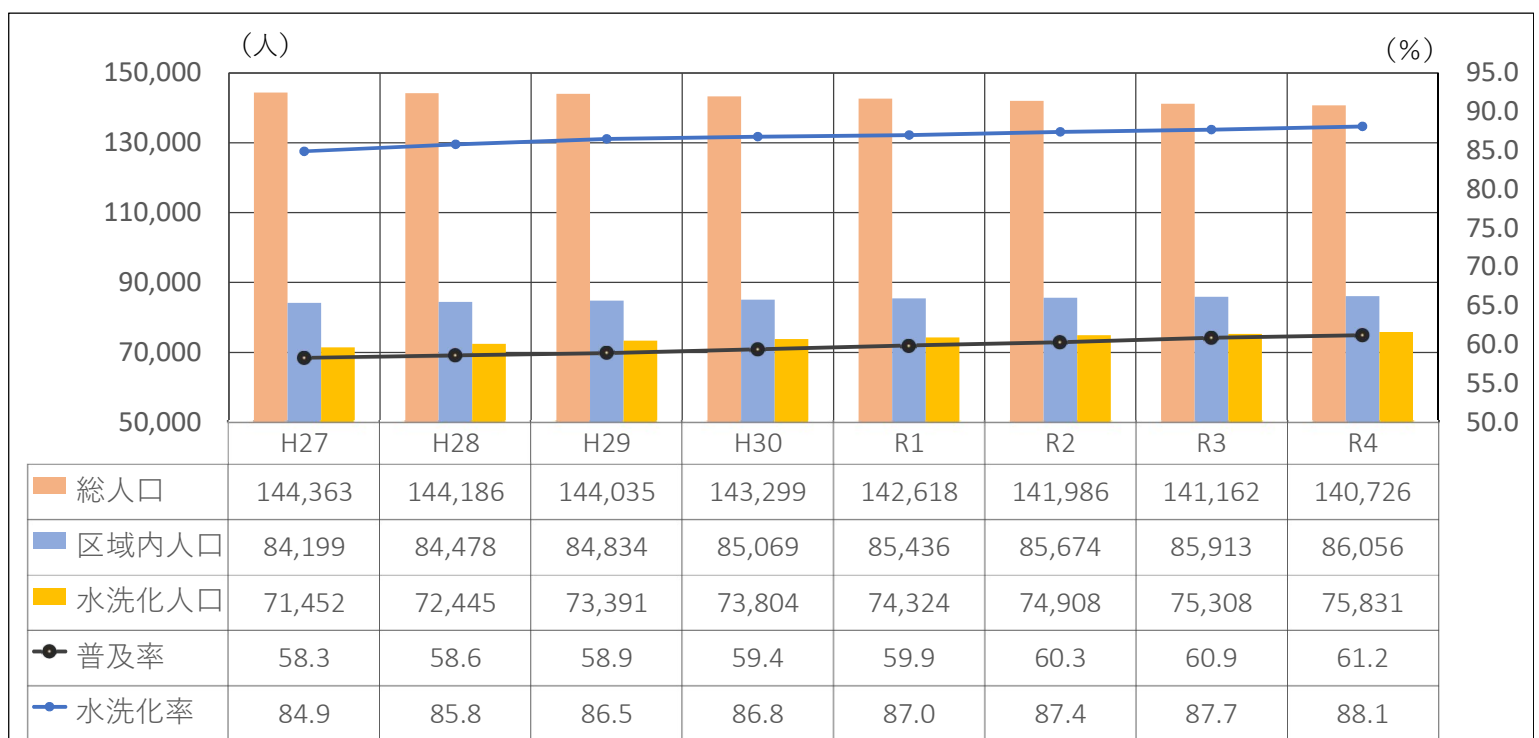
1 業務の状況

処理区域内戸数は39,640戸（対前年度比781戸増）、処理区域内人口は86,056人（対前年度比143人増）で普及率は61.2%（対前年度0.3ポイント上昇）、水洗化戸数は34,740戸（対前年度比670戸増）、水洗化人口は75,831人（対前年度比523人増）で水洗化率は88.1%（対前年度0.4ポイント上昇）となっており、年間で1,154万^m（対前年度比14万^m減）の汚水処理を行った。

○業務の状況 対前年度比（令和4年度末現在）

項目	令和4年度	令和3年度	増減	備考
処理区域内戸数（戸）	39,640	38,859	781	
処理区域内人口（人）	86,056	85,913	143	
水洗化戸数（戸）	34,740	34,070	670	
水洗化人口（人）	75,831	75,308	523	
普及率（%）	61.2	60.9	0.3	処理区域内人口／人口×100
水洗化率（%）	88.1	87.7	0.4	水洗化人口／処理区域内人口×100
汚水処理水量（ ^m ）	11,543,933	11,679,658	▲ 135,725	

○普及率・水洗化率の推移（平成27年度以降）



▶ 下水道整備の進捗に伴い、普及率・水洗化率ともに上昇している。

2 決算規模

(ア) 収益的収支

収益的収入は33億1千2百万円で、前年度と比べると1億2千9百万円の増加（4.1%増）となっている。収益的支出は32億2千9百万円で、前年度と比べると1億3百万円の増加（3.3%増）となっている。

○収益的収支 対前年度比（消費税込、単位：千円）

項目	令和4年度	令和3年度	増減	増減率
収益的収入 A	3,312,482	3,183,116	129,366	4.1
収益的支出 B	3,228,941	3,125,538	103,403	3.3
収支差引 A-B	83,541	57,578	25,963	45.1

▶ 主な実施事業

- ・ 汚水管きよ及び処理施設の維持管理（8億5千万円） ・ 雨水管理総合計画の策定（3千4百万円）
- ・ 公共下水道全体計画及び生活排水ベストプランの見直し（2千6百万円）
- ・ 第2期下水道ストックマネジメント計画の策定（3千2百万円）

(イ) 資本的収支

資本的収入は16億1千6百万円で、前年度と比べると5億5百万円の増加（45.4%増）となっている。資本的支出は25億4千万円で、前年度と比べると5億1千3百万円の増加（25.3%増）となっている。また、収支不足額9億2千4百万円は損益勘定留保資金（減価償却費等の現金支出を伴わない経費）等で補てんした。

○資本的収支 対前年度比（消費税込、単位：千円）

項目	令和4年度	令和3年度	増減	増減率
資本的収入 A	1,616,432	1,111,547	504,885	45.4
資本的支出 B	2,540,081	2,026,779	513,302	25.3
収支差引 A-B	▲ 923,649	▲ 915,232	▲ 8,417	▲ 0.9

▶ 主な実施事業

- ・ 汚水管きよ整備工事（21工事、整備延長3,288.24m、マンホールポンプ2箇所）（2億9千8百万円）
- ・ 下水道ストックマネジメント計画に基づく処理施設の改築更新工事（7億9千8百万円）
- ・ 処理施設の改築更新、耐震補強に係る実施設計（4千8百万円）

(ウ) 決算規模（支出）

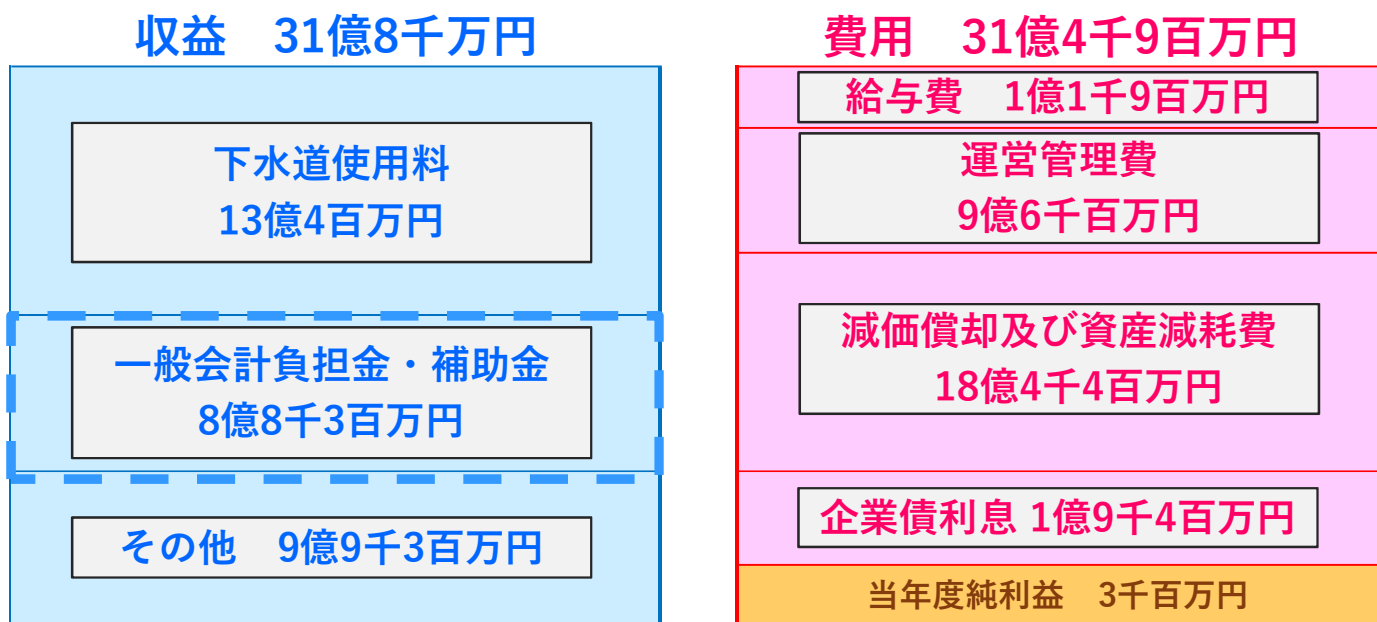
収益的支出32億2千9百万円と資本的支出25億4千万円を合計した決算規模は、57億6千9百万円となっている。

3 経営状況

(ア) 損益の状況

収益は31億8千万円で、前年度と比べると1億2千8百万円の増加（4.2%増）となっている。費用は31億4千9百万円で、前年度と比べると1億2千3百万円の増加（4.1%増）となっている。以上の結果、当年度純利益は3千百万円で、前年度と比べると5百万円の増加（19.8%増）となっている。

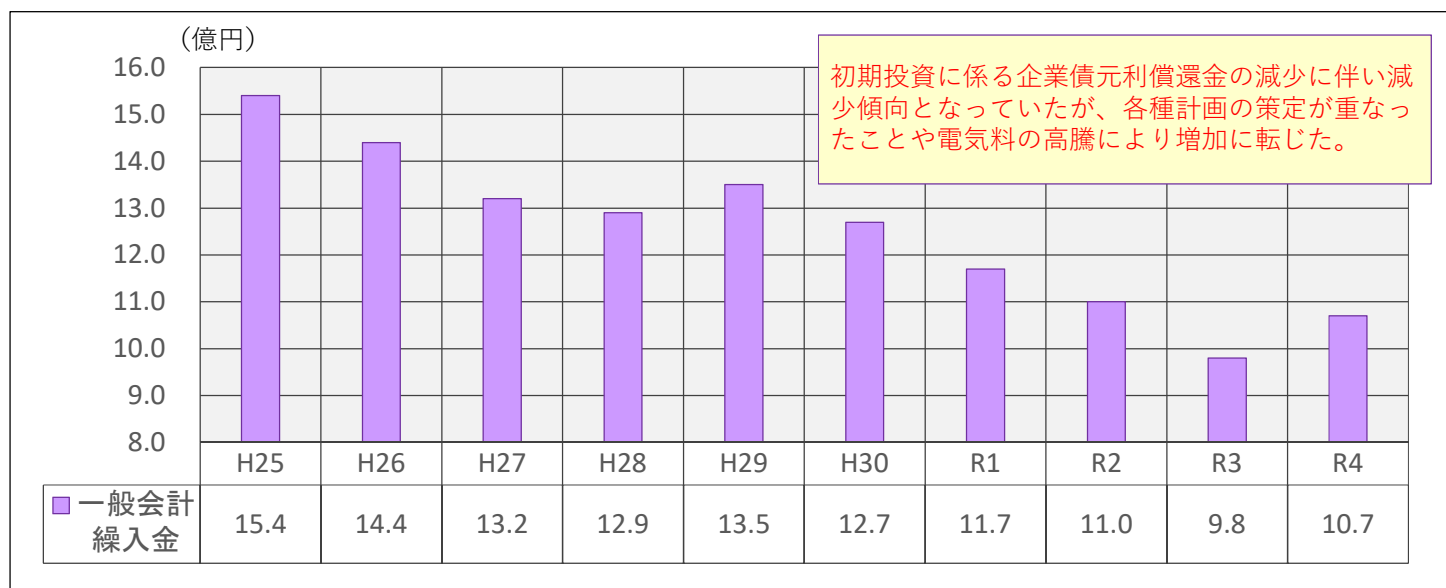
○損益の内訳（消費税抜）



(イ) 一般会計繰入金の状況

一般会計繰入金は10億7千万円で、前年度比で9千万円増加（9.2%増）している。

○一般会計繰入金の推移（平成25年度以降）（単位：億円）



※令和元年度以前は公共下水道事業特別会計における一般会計繰入金、令和2年度以後は収益的収入及び資本的収入における一般会計負担金及び一般会計補助金の合計額。